

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 「きた住まいるヴィレッジ」第2期

支部 : 北海道

記入者: 菅沼秀樹

記入日: 2019/10/8

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|-----------------------------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| ⑦ その他(行政とのパートナーシップ、良質な住宅によるまちづくり) | | |

北海道と南幌町、北海道住宅供給公社、JIA北海道支部、北海道ビルダーズ協会、住宅事業者「きた住まいるメンバー」が手を組み、南幌らしい暮らしとまちづくりを提案するプロジェクト「南幌町きた住まいヴィレッジ」。第1期では、6組の建築家&工務店のコラボレーションによるモデルハウスが建設・販売され、既に新しい住まい手の方たちの暮らしが始まっている。

その第2期が、2019年8月にスタート。今回はモデルハウスではなく、注文住宅を主体にした計画としながらも、第1期でのテーマは継続。JIA北海道支部は、第2期もアドバイザー業務及びデザインルール検討業務を北海道庁から受託。まちづくり委員会が担当となり、第1期の分析をしながら対応を継続している。



(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : JIA北陸支部30周年記念事業 地域と建築展・シンポジウム

支部 : 北陸支部

記入者: 伊藤瑞貴

記入日: 2019.10.15

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | ⑤ 広報活動 | ⑥ 教育活動 |
| 7 その他() | | |

概要(200文字程度):

JIA北陸支部30周年記念事業として「地域と建築展」と記念シンポジウム「地域と建築」を金沢21世紀美術館で開催。「地域と建築展」では、会員建築展・北陸百景・子ども建築塾の模型を展示し、延3000名の入場者。

記念シンポジウム「地域と建築」では、西沢立衛氏・秋元雄史氏・朝倉由希氏・竹内申一氏によるパネルディスカッションを開催し、北陸の地域と建築について議論を深めた。



「地域と建築展」 会員建築展・北陸百景



「地域と建築展」 子ども建築塾



記念シンポジウム「地域と建築」

(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 役目を終える岡山市民会館—建築家のしごと展

支部 : 中国

記入者: 藤田佳篤

記入日: R1.10.10

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | ⑤ 広報活動 | ⑥ 教育活動 |
| 7 その他(|) | |

概要(200文字程度):

佐藤武夫氏設計の「岡山市民会館」の魅力を設計の立場から多くの一般の方に様々な視点で建築を考えることの大切さを知ってもらう機会として、小学生対象の模型製作のワークショップと、岡山市民会館の探訪を行いました。併せて建築家佐藤武夫の仕事や図面スケッチ等を紹介展示も行っている

建築関係者だけでなく、学生から一般まで全ての人を対象とし、建築やそれに携わる建築家のしごとの、様々な側面や魅力を知ってもらう機会を岡山の地で増やし、岡山の街の魅力と建築文化の向上に貢献する事を目的としています。今年は岡山市民会館で、第5回目の開催となります。佐藤武夫氏設計の岡山市民会館の魅力を設計の立場から多くの一般の方に様々な視点で建築を考えることの大切さを知ってもらう機会として、小学生対象の模型制作のワークショップ、岡山市民会館、RSKの建築探訪を企画し、建築探訪の講師として岡山県立大学名誉教授 山田先生をお招きいたしました。また建築家佐藤武夫のしごとや図面スケッチ等を紹介展示いたしました。今回の事業は、岡山市スポーツ・文化振興財団との共催で行いました。

(成果)

延べ約 130 人の来場がありさまざまな方に建築の面白さや、大切さを知って頂く機会になれたと実感しております。



良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 「福岡市都市景観賞」を中心とした景観への意識高揚事業

支部 : 九州支部

記入者: 佐々木寿久

記入日: 2019.10.05

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | ③ 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | ⑤ 広報活動 | ⑥ 教育活動 |
| 7 その他() | | |

概要:福岡地域会では6年前より福岡市都市景観室と3社JVにて委託契約し、福岡市都市景観賞の運営、

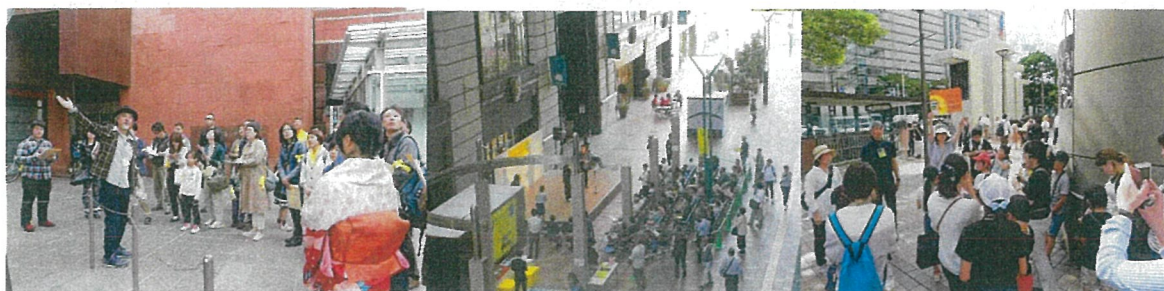
展覧会事業を行っています。主な目的は福岡市民の皆様へ建築、ランドスケープ、活動、広告を景観的により良いもの

にしていき、町並みを良く保ちながら未来に向かうことを考えています。事業としては市民が思うよい景観を上記の4つの

カテゴリーに分け、写真にて公募し賞を審査し、入賞作品を会場にて展示します。会場デザインもJIA福岡地域会が担い、

計6年に渡り、良い評価を頂いています。それによる収益を地域活動の予算として活用し活発な地域会を運営できました。

今後の地域会の新しい運営としてまた、地域の町づくりに大いに影響を与えることができました。



◆景観ガイドツアー

専門家によるガイドをもとに、市民の皆さんに景観・まちなみを紹介するツアー。JIAも、福岡の景観に寄与している建築を解説。毎年テーマを工夫して色々なツアーを計画している。

◆表彰式

表彰式だけではなく、講師を招いた景観講座や、クイズ・まちあるきイベントなど、受賞者以外の周知も目指している。

◆こどもカメラ講座

若年層にも景観への興味を持ってもらうことも事業の目標の一つをしている。こどもたちが、美しくまちなみを撮るコツを学び、実際に街に出てこれまでの都市景観賞受賞作品を撮影するイベント。

◆展覧会

毎年、場所・デザインを変えて、多くの人に景観やまちづくりへの興味・関心を持っていただけるよう工夫している。今年度は、2020年1月20日～1月26日を予定している。



◆2014年度@福岡市美術館

◆2015年度@福岡市役所ロビー



◆2016年度@福岡市役所ロビー

◆2017年度@デパートの広場&公園

◆2018年度@福岡アジア美術館

(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 水路の活用保全活動(さがクリークネット)

支部 : 九州支部

記入者: 馬場泰造

記入日: 2019.10.09

カテゴリ : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | ③ 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | ⑥ 教育活動 |
| 7 その他() | | |

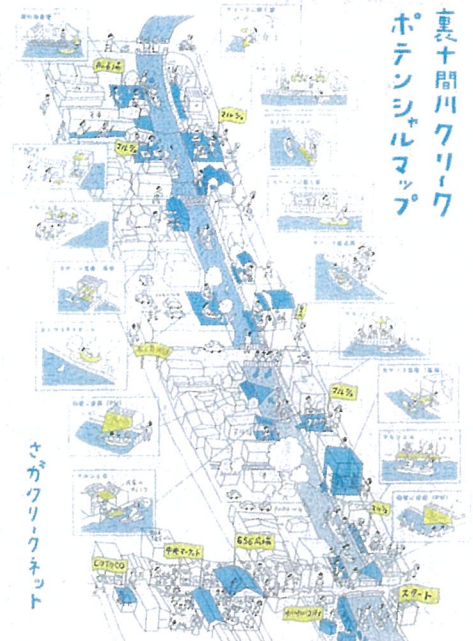
概要(200文字程度):

干拓地の上に築かれた佐賀市の中心市街地には、「クリーク」と呼ばれる地域特有の水路網が張り巡らされています。佐賀地域会が加盟・協力している団体(さがクリークネット)では、産官学民が協力し合いながら、歴史ある水路文化の継承に加え、まちの水路が持つ魅力を引き出すことで豊かな街なか環境を実現させるための提案や、イベントなどを定期的実施し、この土地ならではのまちづくりを実践しています。



■活動(2015年~現在)

- ・船着場製作・クリーク調査・和舟カヤック体験・クリークマルシェ・水辺シンポジウム・河川



※このマップに描かれている内容は、クリークを活かした活動の風景イメージです。イラスト©Yone

▲未来の水路都市の在り方を提案している
(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 「熊本地震被災文化財等復旧事業補助金(未指定歴史的建造物)」事業

支部 : 九州支部

記入者: 森下 修

記入日: 2019.10.08

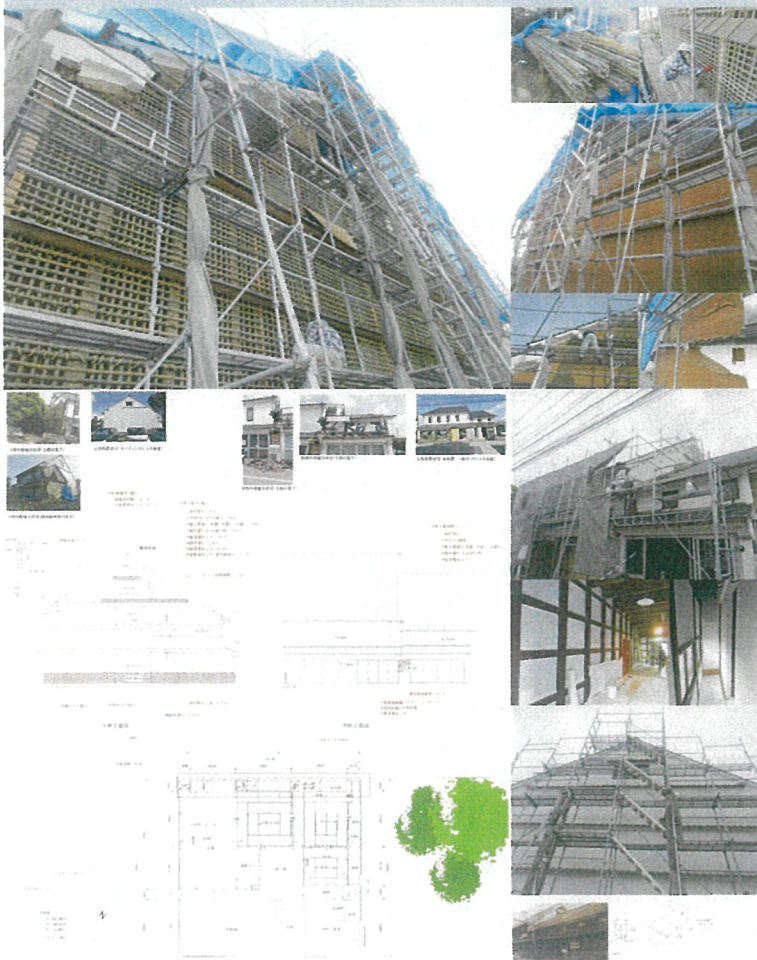
カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|------------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| ⑦ その他(歴史的建造物の保存) | | |

概要(200文字程度):

熊本県文化課による「熊本地震被災文化財等復旧事業補助金(未指定歴史的建造物)」事業が進行している。熊本地震で被災した古民家などの文化財未指定の歴史的建造物を対象に、登録文化財登録申請を条件に建物の復旧費用の2/3を補助するものである。歴史的建造物は土壁など復旧に費用がかかるため、震災後多くの古民家が解体されてしまった。所有者の負担を軽減しできるだけ歴史的建造物を残そうと始まった補助事業である。熊本県や九州のヘリテージマネージャーの調査による調査書や工事費の算出により補助金申請を行い、有識者による歴史的建造物検討委員会の審議を経て交付決定される。交付後はヘリテージマネージャー同等の技術を備えた設計者による設計が行われ、施工業者に発注して復旧工事が行われる。設計や工事の内容は建物の調査を行なった担当ヘリテージマネージャーが要所で監督し事業が遂行される仕組みだ。現在61件の交付決定が成されて着手し、27件が工事完了している。

歴史的建造物くらかおオートサービス熊本地震災害復旧工事(修復中)



歴史的建造物復旧工事の1事例(御船町・商家)

(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : こども建築ワークショップ(JIA沖縄支部主催「沖縄建築展」内イベント)

支部 : 沖縄

記入者: 下地 鉄郎

記入日: 2019.10.14

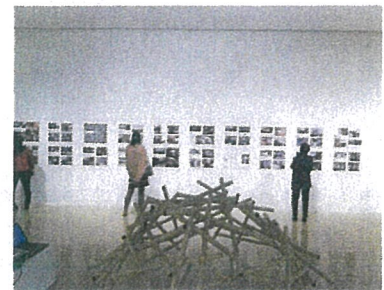
カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| 7 その他() | | |

概要(200文字程度):

第21回になるJIA沖縄支部主催の建築展を2019年3月に開催しました。プログラムのなかでは2016年より続くこども建築ワークショップが今回も企画・開催されました。

紙管と輪ゴムだけで「秘密基地」を作ります。多くのこどもが参加し、ものづくりの楽しさやワクワクを感じてもらいました。「おきなわ建築家」カードを贈呈。



(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 第一回沖縄空間デザイン賞への協力

支部 : 沖縄 記入者: 下地 鉄郎 記入日: 2019.10.14

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| 7 その他() | | |

概要(200文字程度):

JCD(一般社団法人日本商環境デザイン協会)沖縄支部にて、インテリア、建築、プロダクトにいたる幅広い空間デザインに対しての賞を設けることとなり、審査委員に、元沖縄支部長の島田潤氏に加わってもらった。他団体との連携を通じて、会員のデザイン意識の向上や、社会的な広いアピールにも繋がっていくものと思う。



SUGATA TO KATACHI

新たなデザイン賞がここから。

「空間デザイン」オキナワ。
デザイン。それは人も環境も繋がっていたことを忘れないカタチにすること。
演出の創造表現は測れるものではありませんが、
『伝える』ことの大切さを知り次世代からのアコガレへ。
奮ってご参加ください。

実行委員長 田代伸彦

募集期間 2019年9月1日～10月15日

応募条件 2016年11月1日～2019年9月30日までに沖縄県内で実現し、下記カテゴリーに属する作品

1. 施設型(施設、教室、カフェ、複合施設など)
2. 建築型(個人住宅、集合住宅など)
3. プロダクト(家具、照明器具など)

応募資格 作品に責任ある立場で関与した設計者、デザイナー

応募方法 JCD okinawaのHPの応募フォームより、期間内(10/7締切)にエントリー後、作品をメールにて応募ください。

1作品 A3縦紙にレイアウト、1枚4,000円

※、作品応募点数に制限は有りません。

ただし、応募一回につき一作品とします。

審査基準 空間デザインの可能性や社会的役割、これからのデザインを予見せるような作品。

審査委員の合議の上、総合的に審査いたします。

結果発表 2019年11月11日(予定)に、ホームページにて発表いたします。

※応募期間、お問い合わせ、ホームページ、各々の手段にてお問い合わせ頂きますこととなります。お問い合わせは必ずJCDのホームページからお願いいたします。お問い合わせは必ずJCDのホームページからお願いいたします。

Awards

大賞 10万円 金賞 3万円 銀賞 1万円 入選賞状

Jury members

審査委員 田代伸彦(委員長) 島田潤(元支部長) 下地鉄郎(支部長) 田代伸彦(委員長) 島田潤(元支部長) 下地鉄郎(支部長)

田代伸彦(委員長) 島田潤(元支部長) 下地鉄郎(支部長)

田代伸彦(委員長) 島田潤(元支部長) 下地鉄郎(支部長)

田代伸彦(委員長) 島田潤(元支部長) 下地鉄郎(支部長)

田代伸彦(委員長) 島田潤(元支部長) 下地鉄郎(支部長)

田代伸彦(委員長) 島田潤(元支部長) 下地鉄郎(支部長)

お問い合わせ 下記メールアドレスまでお気軽にお問い合わせください。 jcd.okinawa.design@gmail.com

【主催】(一社)日本商環境デザイン協会 沖縄支部

【協力】(公社)インテリア産業協会 沖縄支部 (一社)沖縄県インテリア協会 (一社)大川 THE GRACE

【後援】(公社)日本建築家協会 沖縄支部 (一社)沖縄建築士会 (一社)沖縄タイムス社 (一社)琉球新報社 おきなわ建築Web



募集 日本商環境デザイン協会 (JCD) 沖縄支部 「空間デザイン賞」 作品募集

空間デザイン業界を盛り上げたいと、JCD沖縄支部は「JCD OKINAWA 空間デザイン賞2019」の作品を募集している。

応募対象は2016年～2019年9月30日の間に県内で実現した、

- ① 商空間(レストランやショップなど)。
- ② 住空間(個人・共同住宅)。
- ③ プロダクト(商品として納入実績のある家具や照明など)のいずれかで、締め切りは10月15日。申し込みはJCDのホームページ(http://jcd-okinawa.jimbo.com)から行う。

実行委員長の田代伸彦さん＝写真中央＝は「建築物そのものより、内観を重視した賞。空間デザインの仕事を知らしてもらい、若手育成につなげたい」と話した。問い合わせは下記へメール。 jcd.okinawa.design@gmail.com

(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 平和通りアーケード 老朽化課題解決への取り組み

支部 : 沖縄

記入者: 下地 鉄郎

記入日: 2019.10.14

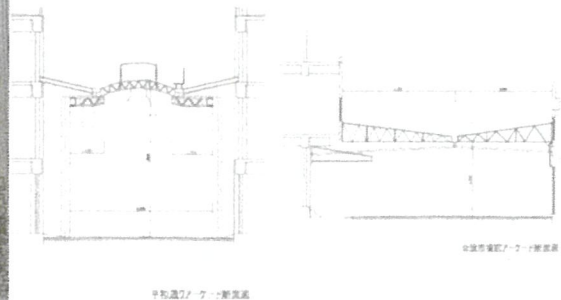
カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| 7 その他() | 会員の活動 | |

概要(200文字程度):

2017年より、那覇市より、那覇の平和通り(全長300m程)のアーケードの老朽化対策・法令確認等の相談を受け、老朽化調査、法令確認、今後の維持管理方法、代替案の提案を行った。

「平和通り」は、戦後の闇市から続く那覇のシンボルとも言え、県民の関心も高く、新聞でもその行方について何度も報道された。現在も、通り会や隣接する那覇公設市場の建替え計画とともに関わりを続けている。



平和通りアーケードビジョンづくりのための課題集掲載

2017.5.28 (沖縄県民会報44号)

課題	現況 (調査結果)	発生	対応	現状 (本会等)	対策	二期	対応・留意事項	対応時期
①現状の劣化	調査実施済	腐食に付着するようになり、歩行者の安全が確保できなくなっている。	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済
②維持・補修	調査実施済	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済
③一時停止・撤去	調査実施済	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済
④撤去・撤去	調査実施済	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済
⑤撤去・撤去	調査実施済	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済
⑥撤去	調査実施済	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	歩行者の安全が確保できなくなっている。歩行者の安全が確保できなくなっている。	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済	調査実施済



良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : けんちくかフェス「JIA東海支部大会2019」

支部 : 東海支部(愛知・岐阜・三重・静岡) 記入者: 黒野有一郎 記入日: 2019/10/18

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

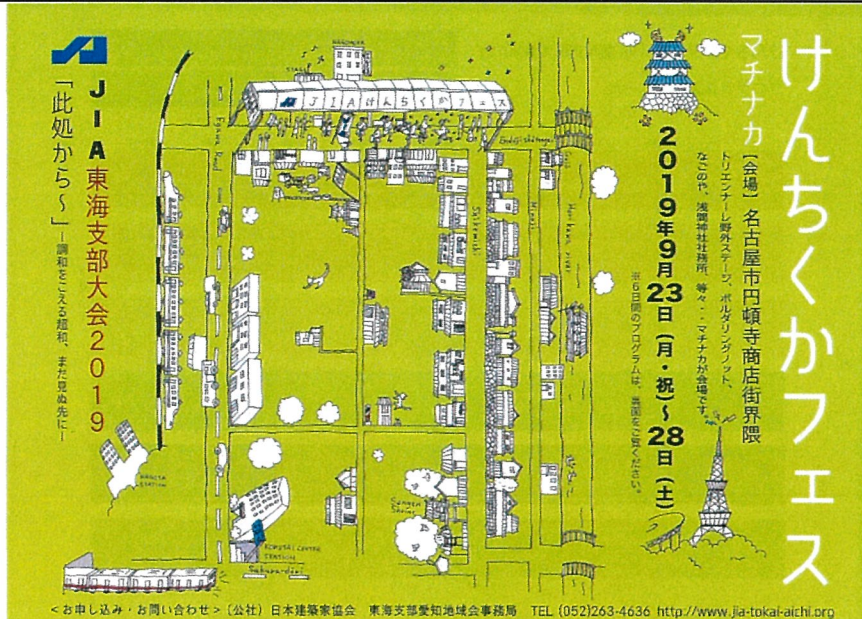
- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| 7 その他() | | |

概要(200文字程度):

東海支部大会2019として、愛知地域会の主催で実施された「けんちくかフェス」。

「あいちトリエンナーレ2019」の開催期間中、会場のひとつである名古屋最古の商店街でもある四間道・円頓寺エリアの各所を会場として、6日間に渡り、様々なテーマについて活発な議論がなされた。

地域における建築家の在り方やその職能の活かし方、建築家は、「此処から～」何処へ向かうのか？



けんちくかフェス「JIA東海支部大会2019」

参加費
JIA会員:1,000円/日 会員外CPD取得者:1,000円 その他無料

プログラムスケジュール

CPD単位
各プログラム:1単位 / 1時間、2単位 / 2時間

	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
23(月)	天使の森プロジェクト @円頓寺界外ステージ/事業室	津田大介講演 @円頓寺界外ステージ/事業室	まちプラ @円頓寺界外/住研+保存研	地産地消会「まちなかフォーラム①」 クロスワーク 建築家の介在 @円頓寺界外ステージ/地域連絡会	まちなかパーティー @NAGANOYA CAFE&別館/事業セクション				
24(火)									まちなか井戸端会議「辺境で、AIと死者と暮らす」 @NAGANOYA CAFE/コンペ委員会
25(水)									研究会「まちなかフォーラム②」 まちなかの「私益と公益」を探る @NAGANOYA CAFE/住研+保存研
26(木)									広報会「まちなかフォーラム③」 アップデート会「現場で、AIと死者と暮らす」 @NAGANOYA CAFE/広報室
27(金)									事業室「まちなかフォーラム④」 地区防災計画キックオフミーティング @NAGANOYA CAFE/別館/事業室
28(土)	建築基本法って何? @ポルダリングノット/居務室	まち歩き 円頓寺と共に @円頓寺界外/ /居務室	陣内秀信氏講演 @ポルダリングノット/居務室						まちなかパーティー(しセブション) @NAGANOYA CAFE&別館/事業セクション

(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : JIA建築ワークショップ@豊橋「お店をつくろう！」

支部 : 東海支部(愛知)

記入者: 黒野有一郎

記入日: 2019/10/18

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| 7 その他() | | |

概要(200文字程度):

豊橋市(愛知県)内のまちなか(中心市街地)エリアの小学校(2校)での建築ワークショップ。

同市まちなかで実施されているアートイベントとの連携企画として、14年目となる本事業にJIAとして参画し、4年生への授業、夏休みのサマースクール、展示設営、表彰・講評まで一連の場面をサポート。

自らが暮らす環境を知ることが主旨。「建築家」という職業の広報も同時に行う。



JIA 建築ワークショップ@豊橋

「お店をつくろう! ~小さなまちづくりプロジェクト」

本事業については、昨年10-11月号の本誌レポートでも詳しく書いた通り、今年も豊橋市での建築ワークショップとして、「とよはし都市型アートイベント Sebane(セバネ)」との連携企画「お店をつくろう!」の来場者の誘引となりました。一年は、早いモノです。

企画の内容について、対象としているのは、まちなか(中心市街地)にある2つの小学校の全児童。身近に商店街があり、自営や、祖父母などの身内が商店を営んでいたりする環境に育つ子供たちに、「お店」を題材に学習のテーマに合わせて、絵画や工作の

作品をつくってもらう。それが展示会場でもって、通りや商店街が再現される。風景が、"小さなまち"になっている。「まちなか=自分の育った環境を知る」というのが目的である。

会場には、～まちなかに育ったという経験は、こどもたちの財産です～と語っている。音楽、自分の暮らす地域と関わる時、自分の育った環境やそこで経験が、アイデンティティ(免状の基盤)にはならず、との思い。

JIAとしては、この企画へ参画して、今年で3年目。愛知地域では、「芸術教育」を主軸に置き、活動を通じて、一般に「芸術家」への理解を促し、建築やまちづくりへの興味や関心、知識を高めることを目標としています。さらに、一昨年創刊された「建築家+」の第2号刊行にあたり、「建築家+」を掲載することを決めています。すでに、両校4年生への工作の授業を終え、7月23日-25日のサマースクール(ワークショップ)の準備も万端です。最終、「小さなまち」の完成を思い、会場までお越しください。

黒野 有一郎 (JIA 愛知)
一級建築士事務所 建築工房



JIA 建築ワークショップ@豊橋

「お店をつくろう! ~小さなまちづくりプロジェクト」

「百年より歴史ある」という愛が何年続いている。愛知地域では毎年この時期に開催されている「とよはし都市型アートイベント Sebane(セバネ)」への参加者が毎年増えている。そして「お店をつくろう!」への参加者は今年で3年目を迎えた。プログラムの詳細については、本誌の昨年10-11月号に掲載されているので是非とも読んでいただきたい。

設置場所は小学校からの作品展示から始まる。あいにく小雨の中での作業となったが、十分な協力人数のおかげで無事しほぎ商店街 PLAT アートスペース」に作品(=お店)を並べていくと、見る見るうちに「小さなまち」ができいく。審査に

は JIA メンバーをはじめ、講師、市のまちづくり担当、会場スタッフ集まり、各分野からの模範店をしながら表彰作品の選定にあたった。今年から JIA からの表彰名を「まちづくり賞」に改題し、5つの作品が受賞した。

最終日には表彰式・鑑評会が開かれ、受賞した児童やご家族の方々が「小さなまち」に集まり会場がより一層にぎやかになる。審査した方々にとっても「賞状の届は作品づくりで没頭していた」等々の感想を聞くことになり貴重な時間となった。表彰作品には、いやいや1店ごとに講評コメントを添えている。製作が完成した作品への評価を聞くということは、ものづくりの過程において重要なポイント

であり、彼ら全員に届けなければならぬ。そんな受賞者の中から「おとな建築家」へと成長することを期待するのは彼らの成長だろうか。その可能性につなげていくためにも本事業は、次のステップも続けていきたい。

本事業は、地に行われる「豊橋小学校 建築教室」と共に、今年度発行予定の「建築家+」vol.2」への掲載記事として掲載する予定です。ご興味のある方は編集発行に参加協力をお願いいたします。

上原 徹也 (JIA 愛知)
フジテレビ/上原製作



【今後のスケジュール】

・会場設営・展示準備・審査 (CPD 4 単位 / 各日)
8月28日(水曜)・29日(木曜)の2日間
・展示開始 (WS ①対応・CPD 4 単位 / 各日)
8月30日(金曜)・31日(土曜)・9月1日(日曜)の3日間
(※期間中、建築ワークショップを企画中)
・表彰式・講評会
9月1日(日曜) 15:00 ~

【展示会場】

橋の国とよはし芸術劇場 PLAT (アートスペース)
〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

【とよはし都市型アートイベント Sebane】
URL: <http://sebaneart.com/vip/>



入賞作品



カフェ電音 ひかり地下に下 とれたて BBQ フルーツカフェ



会場では
「洗木ワークショップ」
も開かれました!

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : JIA 杉並土曜学校 2019「住宅都市・杉並のまちづくり」

支部 : 関東甲信越支部

記入者: 林美樹

記入日: 2019.10.16

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|-----------------------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| 7 ○ その他(行政と市民とを繋ぐ活動) | | |

12日目になる杉並地域会の土曜学校では、「杉並のまちづくり」をテーマとした。地区計画は、なかなか住民の理解がえられず、行政と対峙する構図になりがちだが、本来は共に意見を交わし合いながら、プロセスを重視しながら進めるべきであるとする。それらを良い方向へと導くのも、専門家の仕事のひとつである。第1回目は地区計画が進められている阿佐ヶ谷駅北東地区をとりあげた。行政担当者、周辺住民、さらには地権者(代理人)などにも集まってもらい、話し合いの場を設け、問題点を浮き彫りにしつつ、解決の糸口を探った。



杉並らしい、未来のまちの姿を考える。
CIPD認定プログラム申請中

住宅都市・杉並のまちづくり

阿佐ヶ谷駅北東地区を事例として

2019年6月22日(土)
14:00~17:00(開場:13:30)

杉並区立産業商工会館 B1F 第1・第2集客室
参加費:500円 定員:50名

パネリスト: 茶谷晋太郎 (杉並区役所都市整備部まちづくり担当部長)
野沢正光 (建築家)
寺尾信子 (建築家・JIA杉並地域会)
コーディネーター: 河野 進 (建築家・JIA杉並地域会)



主催:(公社)日本建築家協会 関東甲信越支部 杉並地域会 後援:杉並区/杉並建築会 協力:(株)堀田工務店

JIA 杉並土曜学校 2019のテーマ
「杉並らしい、未来のまちの姿を考える」

過去のまちづくりの事例や現在進行中の事例を参考に、幅広く意見交換を行い、今後のまちづくりに必要な学習機会を共有する場になります。

地区計画の進捗やまちづくりに関するプロセスの重要性については、すでに知られていることですが、その具体的な方法については、おなじみでも確立されているとはいえ、企業活動が難しく、進捗していると思えない事例も少なくありません。

しかしながら、おなじみでも進捗が難しいという問題は、どんな立場のまちづくりにも共通のものがあるはずで、私たちは、「プロセスを重視しながら、じっくりと時間をかけて、関係者全員が「よかつた」と見える、住宅都市・杉並らしいまちづくりの進め方を考えていきたいと思います。

第1回 6/22 「住宅都市・杉並のまちづくり」
第2回 9/7 「みちとまちづくり(Ⅱ)」
第3回 11/30 「施設とまちづくり(Ⅱ)」
第4回 2/8 「市民と考えるまちづくり(Ⅱ)」

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画について



「杉並区まちづくり基本方針」及び「阿佐ヶ谷駅周辺まちづくり方針」をベースに、平成31年3月「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画」が策定された。

この地区は、区内古来の小学校が、戦後60年となる校舎の建て替え、また地域の災害脆弱性課題等もある総合病院の改築など、多様な課題をかかえている。それらを実現しつつ、地域で残されてきた緑地の保存、防災のための防壁の整備、駅の北側の商店街にぎわいと安全性を確保しようとするのが、このまちづくり計画の概要である。現在都市計画法による「地区計画」の手続きによりまちづくり計画の実現に向けてルール作りが進められている。

パネリスト

茶谷 晋太郎 (ちゃや しんたろう)
1981年生まれ、兵庫県宝塚市出身。東京大学法学部卒業後、国土交通省入省、自動車交通局、都市・地域整備局(当時)、筑波大学院院生、内閣立憲機構等を経て、2018年4月より杉並区まちづくり担当部長。
中学在学中に阪神・淡路大震災。都市活動局時代に東日本大震災を経験しており、災害に強いまちづくりが大きな目標。

野沢 正光 (のざわ まさみつ)
1944年東京生まれ。1970年大塚建築設計事務所入所。1974年野沢正光建築工房設立。現在、横浜国立大学理工学部非常勤講師、住宅遺産トラスト代表理事など。
主な作品として、「熊本県水町立三加和小学校」、「愛知県豊田高等学校」、「立川市庁舎」、「いわむらかずお祭場の丘美術館」など。

寺尾 信子 (てらお のぶこ)
東京生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了後、設計事務所勤務を経て1981年、阿佐ヶ谷にて事務所開設。寺尾三上建築事務所代表として、当時の住・都公団東武で市街地再開発事業の権利者住宅設計などに従事。JAでは環境建築の研究会グループに所属。阿佐ヶ谷2丁目の自宅と阿佐ヶ谷北1丁目の母親の住居では40年近く、新築後毎週通ったり頻りに通ったりして、今日に至る。

コーディネーター

河野 進 (こうの すずむ)
1944年広島生まれ。東京大学都市工学専攻卒業後、(株)大谷研発にて、建築設計・地産計画に関わる。1971年より(株)河野設計事務所主宰。作品としては、多摩ニュータウン低層集約、品川区立伊豆山川邸、全労済東京会館、船木林の家などがある。主な著書は「日本の家を美しくする」(共著)学芸出版、「建築革命」(共著、建築ジャーナル)など。

(申し込み方法)
参加ご希望の方は片名を「JA杉並土曜学校申込」とし、お名前、所属、人数、メールアドレス、当日連絡の取れる電話番号、お住いの地域(杉並区など)を明記の上、メールまたはファックスでお申し込みください。

(申し込み先・問合せ先)
JA杉並土曜学校担当 タブレット内 中村恵子
tel 03-5305-2773 fax 03-5305-2774
e-mail suginami@jia-kanto.org

杉並区立 産業商工会館
東京メトロ丸の内線
南阿佐ヶ谷駅より徒歩3分
JR中央線 阿佐ヶ谷駅より徒歩5分
杉並区阿佐ヶ谷南 3-2-19
tel:03-3393-1501

第1回のチラシ



会場の様子

(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : T-CUBEによるボクたちとワタシたちの村

支部 : 近畿支部

記入者: 駒井陽次

記入日: 20191018

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|--|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | <input checked="" type="checkbox"/> 6 教育活動 |
| 7 その他() | | |

概要(200文字程度):

段ボール素材の模型づくりのワークショップを通じて、人と人が建築空間を介してつながり、コミュニティを形成し社会ともつながって、さらには街に発展していくというプロセスを疑似体験しながら、建築と空間というものが持つ可能性を発見してもらうことにあります。2010年度から始まった兵庫地域会主催の建築出前授業で、小学生高学年及び中学生が対象です。



事前授業: 家やまちになりたちについて



事前授業: 1.8mx1.8m空間を経験



本授業: 1.8mx1.8m空間の宿題共有



事前授業: みんなでの話し合いと制作



事前授業: 自分たちに村のプレゼン



事前授業: いくつかの村をつなげてまちに

(JIA全国まちづくり会議)

良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 「建築士の日」イベント

支部 : 四国支部・徳島地域会

記入者: 鳥羽知夫

記入日:

カテゴリ : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|----------------|---------|---------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| 7 その他(| | |

概要(200文字程度):

.....二年に一度、「建築士の日」に建築士会がイベントを企画開催していますが.....
今年は、阿波銀ホール設計者である(旧:郷土文化会館)建築家「西山卯三」氏の
資料展示、「県民広場」の解放(イベントのための一時的な使用)を主に手伝う形で参加しました。
当日は高校、大学の学生が多く足を運んでくれました。.....

第1部 展示会+見学会

徳島の近代建築を見てみよう!



とくしま会場
 10:00 - 16:00
 あわぎんホール
 2階特別展示室
 徳島の近代建築ギャラリー展
 西山卯三資料展示
 ウォークラリー

なると会場
 10:00 - 15:00
 鳴門市文化会館
 2階展示室
 増田友也建築ギャラリー展
 増田建築デジタルアーカイブVR体験
 ウォークラリー

7.1
 建築士の日イベント

2019年
6月30日(日)

参加要約
 徳島県には、全国に誇れる多くの近代建築があります。その中には、歴史と設計の専門文化会館、西山卯三設計のあわぎんホール、建築家増田友也のWITHビルなど、日本代表4名建築家による作品も含まれます。この文化的価値の高い建築を、「とくしま会場」と「なると会場」で、チャララー展・見学会・講演会を行います。見学会では、ウォークラリーを開催し、3部構成は黒紙を掲載していますので、お子様と一緒に近代建築ツアーを楽しみませんか? 詳しくは黒紙を!

問合せ 徳島県建築士会事務局
 TEL:089-433-7579
 主催 徳島県建築士会
 協賛 徳島県立美術館
 協賛 徳島県立中央図書館
 協賛 徳島県立中央図書館
 協賛 徳島県立中央図書館

とくしまコース 6/30 10:00-15:00

- あわぎんホール
 徳島県郷土文化会館(1971)
 設計:西山卯三
 かつて新町(旧)に建ちこんでいた「徳島の高級」モダン邸、戦後復興の一環として近代建築になっている。
- 国際美術館113ビル
 徳島県立美術館(1952)
 設計:新永幸次
 国際美術館113ビルは、ロマンチックな設計が特徴で、増田友也の設計による。増田友也の設計による。増田友也の設計による。
- 三ツ宮住宅(1970)
 設計:増田友也
 国際美術館文化財
 増田友也の設計による。増田友也の設計による。増田友也の設計による。
- WITHビル(1965)
 設計:安藤忠雄
 増田友也建築家設計の徳島県一の建築。安藤忠雄の設計による。増田友也の設計による。増田友也の設計による。



なるとコース 6/30 10:00-15:00

- 鳴門市庁舎(1963)
 鳴門市市民会館(1961)
 設計:増田友也
 DOCOMO JAPAN 認定「優秀設計賞」全国46番目に認定された。なると会場「天竺の設計」が考えられている。
- 共済会館(1973)
 設計:増田友也
 非本庁舎2階とオーバーブリッジにより建てられており、増田友也の設計による。増田友也の設計による。増田友也の設計による。
- 鳴門市文化会館(1982)
 設計:増田友也
 DOCOMO JAPAN 認定「優秀設計賞」全国46番目に認定された。なると会場「天竺の設計」が考えられている。
- 鳴門市健康福祉交流センター
 老人福祉センター(1977)
 設計:増田友也
 増田友也の設計による。増田友也の設計による。増田友也の設計による。



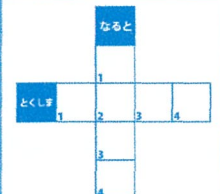
第2部 講演会



16:00 - 17:30
 とくしま会場:あわぎんホール2階特別展示室
建築の楽しみ方 - 見えてくる地域・時代・人間
 講師 倉方俊輔 Shunsuke KURAKATA
 1971年生まれ。建築家。大阪府立大学の建築。建築そのものの魅力と可能性を、研究、執筆、実務を通じて広め、広めようとしている。増田友也の設計による。増田友也の設計による。増田友也の設計による。

近代建築ウォークラリー

6月30日は、徳島にある近代建築を見てみよう!
 とくしま会場と、なると会場の近くにある近代建築4か所を歩いてまわり、そこに隠されたキーワードを探そう!
 見つけたキーワードを右のマス目に書くと、ある言葉が!?
 それぞれのコースごとに4マスを探ると言葉がもらえるよ!
 歩いて、見て、知って、建築のおもしろさを体験しよう!
 ※黒紙は展示会場でもらえます。



良質な建築・美しい街づくりの仕組、萌芽事例シート

タイトル : 菊池清治邸を活かす会

支部 : 四国支部愛媛地域会

記入者: 眞田井 良子

記入日: 和元年10月10

カテゴリー : 該当するものに○をつけてください(複数可)。

- | | | |
|-------------------------|---------|----------|
| 1 まちづくり協議会への支援 | 2 審議会支援 | 3 行政との協定 |
| 4 コンペ・プロポーザル支援 | 5 広報活動 | 6 教育活動 |
| ⑦ その他(まちづくり拠点施設の整備提案) | | |

概要(200文字程度):

愛媛県八幡浜市の初代市長である「菊池清治」さんの住宅を、まちづくりの拠点施設にできないかということで2010年から、市民参加の清掃活動、蔵から出てきた「日本最古の木製自転車」の里帰り展、また自転車を活用したまちのあり方のシンポジウム開催、活用方法の提案の一環で「ベリーダンス」披露など10年以上も市民中心に活動し昨年度八幡浜市の市指定文化財になり、今年度いっぱい整備され、来年度から拠点施設として稼働します。



日本最古の木製自転車



地元の工業高校生が実測の上1/2模型を製作



市民講座
「アートがまちにできること」
2012/2/19 Sun 14:00 入場無料 申込必要
場所: 菊池清治邸 (八幡浜市清治の里 中央駐車場前)
13:00~14:00 開場: 菊池清治邸のガイドを随時行います。
14:00~16:00 アートパフォーマンス、市民講座
16:00~18:00 交流会

平成23年4月10日「菊池清治邸を活かす会」の菊池清治邸での「きれいにしる」活動写真



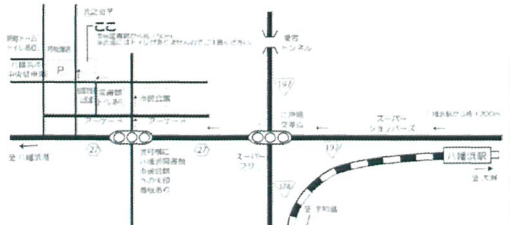
市民講座 講師 徳永直志 氏
1969年岡山県生まれ。早稲田大学文学部国文学専攻修士課程修了。博士(文化研究)。現在、1971年入会した「アートフォーラム」の代表理事、菊池清治邸運営「アートフォーラム」の代表理事、菊池清治邸を運営。その他、読者会理事、写真展、入賞展覧会など、各地の文化活動に関与。著書:「愛媛の歴史」(2009年)、徳永直志「新書と書評の文化研究」(2010年)、徳永直志「文化活動の歴史と未来」(2010年)、徳永直志「など」



アートパフォーマンス: オリエンタルダンサー shippo (5ヶ月) 愛媛県中予出身。愛媛県舞踊協会所属。愛媛県舞踊協会の民舞舞踊であるベリーダンスに造詣が深い。現在八幡浜市を中心にイベント出演やワークショップにて活動中。



自転車でのまちづくりのシンポジウム



主催: 八幡浜芸術家協会、(社)建築家協会西国支部 共催: 菊池清治邸を活かす会

申込用紙 (FAXメールで電話でも申込み可)

申込・問い合わせ: 眞田井 サナダイ | FAX: 0894-22-4660 MAIL: info@the-yjga.com 電話: 090-5758-0158

氏名 _____ 住所 _____

電話番号 _____

市民講座 シンポジウム「アートがまちにできること」



提案書



外輪船「八幡丸」の船首飾り